

SoulCarrier共鳴の会

活動紹介

2026年1月

SoulCarrierとは

ミッション

「存在証明の民主化」
誰もが「生きた証」を残せる世界を実現する。

私的な物語——Pearlから始まった

原点は愛犬Pearlです。

2007年から一緒に暮らし、2025年に見送りました。Pearlの喉仏を四つ葉のクローバーと共に貝殻に納め、「動くお墓」を作りました。

大切な存在を忘れない。

これが「存在証明の民主化」につながりました。

マウイ島での体験——「無名氏」との出会い

2025年、ハワイ・マウイ島の日系基地を訪れた際、「無名氏」と刻まれた墓石に出会いました。

移民として海を渡り、ハワイで生涯を終えた方——しかし、その名前は記録されることなく、「無名氏」として埋葬されていました。

"Unmarked" — 無名氏
ここに眠る人は、誰だったのか？
「ここに人が生きた」——その証が、残っていない。

Pearlへの想いと、無名氏への衝撃。この二つが重なり、SoulCarrierが生まれました。

「ここにいてくれて、ありがとう」

SoulCarrierが目指すのは、すべての人に対して——

「あなたがここにいてくれて、ありがとう」

と言える社会です。

有名か無名か、裕福か貧しいかに関わらず、一人ひとりの存在を記録し、未来へ伝える。それが私たちの使命です。

活動実績：Martin Case

第1号ケース——岩下照子さんを故郷へ

SoulCarrierの御遺骨帰還プロジェクト第1号として、「Martin Case」を進行しています。

2024年12月、マウイ島の教会で出会った70代の日系アメリカ人・マーティンさんから依頼を受けました。マーティンさんは母・岩下照子さん（群馬県出身、戦争花嫁として渡米）の遺灰を約4年間保管しており、故郷への帰還を願っています。

調査実績

- ・寺院8箇所を巡回（檀家情報の確認）
- ・公営墓地3箇所を探索
- ・累計5,000基を超える墓石を1人で目視確認
- ・複数の行政窓口と連携し、戸籍取得ルートを確立

依頼者からの声

"Thank you Takuya. You are a gentleman and a scholar."
— マーティンさん

今後の予定

マウイ島へ再渡航し、遺骨・書類を受け取り、帰国後に行政手続きを経て親族への連絡・納骨を目指します。

広がるネットワーク

Martin Caseを契機に、SoulCarrierの活動ネットワークが広がっています。

協力合意（MOU）締結

機関・団体	所在地	連携内容
NPO法人伊賀の友（上田さん）	三重県	SoulCarrier共鳴の会 最初のMOU締結、Workaway導入支援
日本ハワイ移民資料館	山口県	日系移民調査の協力、全国各地での調査代行
仁保島ハワイ移民資料館	広島県	学術資料収集の協力要請（JICA・国立国会図書館に蔵書）

- ・JICA横浜 海外移住資料館 — 学術調査の観点での企画提案
- ・渋谷区（日本唯一のハワイ姉妹都市）— マウイ活動の情報共有
- ・高野山 真言宗総本山 — 移民納骨の相談（上田さん経由でご住職紹介予定）

Workawayでの活動

マウイ島では、Workaway（スキルと滞在場所を交換するプラットフォーム）を通じて：

- ・寺院や農場へのオフグリッド構築支援（太陽光パネル、バッテリー、衛星通信）
- ・ハナファームのホスト・メラニーさんから、パビリオン施設を無償で提供いただく

佐渡島への展開

なぜ佐渡なのか

SoulCarrierの活動拠点として、新潟県佐渡島への展開を計画しています。

佐渡を選ぶ理由：

1. 「流刑地」の歴史 — 世阿弥、日蓮、順徳上皇など、「外から来た者が文化を創った」島
2. 「無名氏」との接続 — マウイと同様、佐渡にも記録されていない人々の墓石が存在
3. トキエア就航 — 空港再開により、離島でありながらアクセス改善
4. 「記録を守る島」としてのポテンシャル — 災害リスクが低く、長期保存に適した立地

インフィニティの島々——東西分散保管構想

佐渡もマウイも、島の形状が ∞ （インフィニティ）——永遠のシンボル。

	佐渡島	マウイ島
役割	東洋拠点	西洋拠点
対象	日本語圏の記録	英語圏の記録
拠点	河原田エリア	ハナファーム

両島を拠点とした「東西分散保管ネットワーク」により、1,000年オーダーでの記録保存を目指します。

こんな方・団体と連携したい

SoulCarrierの佐渡展開にあたり、以下のような方々との連携を希望しています。

場所・施設

対象	連携の可能性
空き家・古民家オーナー	活動拠点、ワークショップ会場
倉庫・蔵オーナー	記録物の長期分散保管
寺院・神社	存在証明の保管連携、永代供養の相談
農家・農園	Workaway的なスキル交換滞在

人・専門家

対象	連携の可能性
地元の歴史研究者	佐渡の「無名氏」調査、郷土史連携
IT・リモートワーカー	デジタルアーカイブ技術協力
映像・写真クリエイター	活動記録、ドキュメンタリー制作
終活アドバイザー	存在証明サービスの普及

団体・組織

対象	連携の可能性
移住支援NPO	移住者ネットワーク、情報共有
地域おこし協力隊	地域活性化との連携
佐渡市・行政	空き家バンク、移住促進施策との連携
葬儀・石材業者	墓石QRプレート、存在証明サービス

私たちが提供できること

- ・オフグリッド構築支援：太陽光・バッテリー・衛星通信の導入支援
- ・**Workaway**導入支援：スキル交換型滞在の仕組みづくり（三重県で導入実績あり）
- ・デジタル・アナログ両面での記録技術：QR音声保存、石英ガラス刻印
- ・国内外のネットワーク：マウイ、群馬、三重、山口、広島との連携実績

「共鳴」が出発点です。 ビジネス的な取引ではなく、理念に共感いただける方との緩やかな連携を希望しています。

MOU（基本合意書）の締結

ご関心をお持ちいただける方・団体とは、**MOU**（基本合意書）を締結し、継続的な連携関係を構築したいと考えています。

現在、以下の機関とMOUを締結済みです：

機関・団体	所在地
NPO法人伊賀の友	三重県
日本ハワイ移民資料館	山口県
仁保島ハワイ移民資料館	広島県

佐渡島での連携先を積極的に募集しています。

製品・サービス（参考）

存在証明サービス

サービス名	概要
音声 QR 記録	自分の声をQRコードに記録。クラウド不要で永続保存可能
石英ガラス刻印	1,000年以上保存可能な石英ガラスにメッセージを刻印
墓誌 QR 石片	既存の墓石に後付けできる小型石英プレート

特徴

- ・クラウドレス技術 — QRコード自体にデータを物理保持。サービス終了リスクなし
- ・分散保管 — 佐渡倉庫での永続保管オプション
- ・「無縁仏化への保険」 — 記録が失われない仕組み

会員制度

SoulCarrier共鳴の会として、会員制度を立ち上げています：

会員種別	年会費
正会員	3,000円/年
終身会員	90,000円（一括）
賛助会員	15,000円/口

本資料について

本資料は、SoulCarrier共鳴の会の活動をご紹介しますことを目的としています。

営利活動の広告や勧誘を意図したものではありません。ご関心をお持ちの方がいらっしゃれば、お気軽にお声がけください。

連絡先

SoulCarrier共鳴の会 Founder & Boundarist 佐藤卓也

項目	連絡先
電話	080-4448-7444
メール	business@satotakuya.jp
活動詳細	bit.ly/boundaristjp
ご寄付	wise.com/pay/me/satot67

おわりに

「忘れられないために」生きることから、「忘れられない前提で」生きることへ。
この一点が変わるだけで、人間の在り方が根本的に変わります。
共鳴してくださる方がいらっしゃれば幸いです。

2026年1月 SoulCarrier共鳴の会